

甲虫目(鞘翅目)

オサゾウムシ科



トホシオサゾウムシ

H24.5.4 ビワ(愛西市)

発生時期:5~7月
発生樹種:クヌギ、ビワ
形態等:赤褐色で、上翅と胸部に数~十個程度の黒斑がある。体長6~8mm

オトシブミ科



クロケシソブチョッキリ

<67>

H23.5.9 ラズベリー

発生時期:年1回、4~8月 発生樹種:バラ、サルズベリ、ウバメガシ
形態等:新梢の先端部が傷つけられ萎凋して垂れ下がり、やがて褐変枯死する。開花直前の花蕾も傷つけられ黒く乾固する。体長2.5~3mm

カミキリムシ科



モモチョッキリ

H23.4.15 カリン

発生時期:1~2年に1回、3月下旬~6月、成虫のまま土中越冬
発生樹種:モモ、ナシ、リンゴ、ビワ
形態等:果実に孔をあけて食害、産卵し、果梗または結果枝ががみ切られる。体長7~10.5mm



ゴマダラカミキリ

H22.7.5 ミカン

発生時期:年1回又は2年に1回、成虫発生は5月~9月、樹幹内で幼虫越冬
発生樹種:柑橘類、カエデ類、ヤナギ類、ヤシヤシ類、クワなど
形態等:本種の幼虫は、テッポウムシといわれる虫の代表的なもので、地際部の材部に穿孔し加害する。体長25~35mm



シロスジカミキリ

H23.5.24 コナラ

発生時期:2年に1回、樹幹内で幼虫又は成虫で越冬、成虫野外活動期は5~7月 発生樹種:クヌギ、クリ、ウバメガシ、アラカシ、ヤナギ類
形態等:樹皮と材質部の間に産卵し、幼虫は樹皮下の木質を食害するので、樹皮が膨れてこぶ状になる。体長約50mm



ベニカミキリ

H24.5.5 ビワ(愛西市)

発生時期:年1回または2年に1回、成虫は4~5月
発生樹種:タケ、ビワ
形態等:枯れたタケの害虫として有名。羽が赤黄色の美しいカミキリで、胸部には黒い斑紋がある。体長13~17mm



ヤハズカミキリ

H23.7.8 アキノレ

発生時期:5~8月
発生樹種:各種広葉樹
形態等:前翅の先端部が尖る。体色はピンク色を帯びた褐色で、前翅中央付近に暗色の紋がある。体長15~25mm



ラミーカミキリ

H23.6.9 フヨウ

発生時期:5~7月
発生樹種:ムクゲ、フヨウ
形態等:青味を帯びた白色と黒色の模様が綺麗な小型カミキリ。体長8~17mm

コガネムシ科



アオドウガネ

<68>

H22.8.8 カキ(愛西市)

発生時期:年1回、成虫は6~9月、幼虫越冬
発生樹種:イヌマキ、ウバメガシ、クリ、ブドウ、カキなど多種
形態等:ドウガネブイブイは青銅色が多いが、やや小型で濃緑色の個体をアオドウガネと呼ぶ。体長18~22mm



コアオハナムグリ

H22.5.30 ガマズミ(岐阜県各務原市)

発生時期:年2回、成虫は4~6月、8~10月(最多発生は5月)、成虫越冬
発生樹種:柑橘類、バラ、クリなど
形態等:暗緑色で体の上面には白点が散在するが色彩には変異が大きい。体長11~15mm



コイチヤコガネ

H23.5.18 ヤナギ(愛西市)

発生時期:5~8月
発生樹種:クヌギなど広葉樹
発生樹種:イヌマキ、ウバメガシ、アラカシ、ヤナギ類
形態等:茶褐色に灰黄色の微毛が生えている小さいコガネムシ。体長9.5~12mm



コガネムシ

H24.7.1 ヨシ(愛西市)

発生時期:5~8月
発生樹種:サクラ、クヌギなど
形態等:光沢の強い緑色。体長17~23mm。コガネムシ科の昆虫の総称または一部のグループを「コガネムシ」という場合もある。



コフキコガネ

H23.7.26 シナサワグルミ

発生時期: 6~8月
発生樹種: コナラ、クヌギ、クリ
形態等: 淡褐色のコガネムシで、背面は黄灰色の短剛毛で覆われ、粉を吹いたように見える。体長は25~31mm



シロテンハナムグリ

H23.8.29 シマサルスベリ

発生時期: 5~9月
発生樹種: クヌギ、コナラ
形態等: 暗緑色~銅色に輝く体に、小さな白点を散りばめた模様を持つハナムグリの仲間。体長16~25mm



セマダラコガネ

H23.6.9 ハギ

発生時期: 6~8月
発生樹種: ハギ、ビワ、ザクロ、ムクゲ
形態等: 薄茶色と黒色のまだら模様の小さなコガネムシ。体色には変異があって、全身が黒色のものもある。体長8~13.5mm



ドウガネブイブイ

H24.6.18 サラサウツギ

発生時期: 年1回、6~9月
発生樹種: イヌマギ、サクラ、クリ、ウバメガシ、ブドウ、クヌギ、カキなど
形態等: 銅色をした大型のコガネムシで、昼間は葉陰などに潜み、夕方から活動(食害)する。体長17~25mm



ヒメコガネ

H23.6.19 ヤナギ(愛西市)

発生時期: 年1回、成虫は6月下旬~9月中・下旬、幼虫越冬
発生樹種: サクラ、クリ、ブドウ、クヌギ、ヤナギなど(幼虫はスギ、ヒノキなどの根を食害)
形態等: 体長13~16mm、緑色の個体が多いが、銅赤色、銅色、青藍色、銅緑色など体色変異に富む。



マメコガネ

H23.7.21 コクチナシ

発生時期: 年1回、成虫は6~9月、幼虫越冬
発生樹種: ウバメガシ、バラ、クリ、ブドウ、サルスベリなど多種
形態等: 体長10~12mm、頭部・胸部は緑~赤色で光沢があり、前翅は赤茶色で複数の縦線がある。集合性が強く集団で加害する場合が多い。

ゾウムシ科



カシワクチブトゾウムシ

H23.6.9 コナラ

発生時期: 5~6月 発生樹種: カシワ、コナラ、ハンノキ、クヌギ
形態等: 地色は黒色、全体に灰色と茶褐色のサビ模様の鱗片(りんぺん)で覆われている。体長5mm前後



コフキゾウムシ

H23.5.16 ハギ

発生時期: 4~7月 発生樹種: ハギ、ムラサキナツツジ
形態等: 黒色だが、鱗片で覆われているので淡緑色に見える小さなゾウムシ。体長5mm前後



スグリゾウムシ

H23.7.1 ハギ

発生時期: 4~8月 発生樹種: ハギ、ヒイラギモクセイ、モクセイ類
形態等: 黒色だが、鱗片で覆われているので灰白色に見える、丸い体型のゾウムシ。上翅に褐色の帯が2本ある。口吻はあまり長くない。体長5~6mm



ニレノミゾウムシ

H23.6.13 アキニレ 円内: H23.5.19 アキニレ

発生時期: 5月~6月 幼虫・成虫
発生樹種: アキニレ
形態等: 葉縁部から葉肉部が食害され褐色に萎縮、中の空洞に体長約3mm黄白色の幼虫が棲む。成虫は表皮のみを残して葉肉を点々と食害する。成虫は体長4~5mm

タマムシ科



ウバタマムシ

H23.10.21 クロマツ

発生時期: 6~10月
発生樹種: マツ類
形態等: 金銅色~赤銅色の光沢があり、上翅には深い溝が複数ある。体長24~40mm



ナミガタチビタマムシ

H23.5.4 エノキ(愛西市)

発生時期: 4~5月
発生樹種: ムクノキ、エノキ、ケヤキ
形態等: 全体に金銅色で、上翅に波型で灰白の横帯がある。体長は3.5~4mm

ハムシ科



アオバナサルハムシ H23.6.9 フヨウ
 発生時期: 6~8月
 発生樹種: フヨウ、ムクゲ、マルメロ
 形態等: 基本形の背面は銅緑色だが、前胸部の色がオレンジ色のものから全身オレンジ、黒いものまで色彩の変化が多い。体長約4mm



アトバシハムシ H23.6.23 アメリカヨウブ(愛西市)
 発生時期: 4~6月 発生樹種: リヨウブ
 形態等: 前翅はクリーム色の地色に、前翅後方に1対の大きな円形の黒紋があり、前翅前方の中心部にも1つ黒紋があるが、これは不明瞭なものも多い。頭部・胸部はオレンジ色。体長4.5~5.5mm



ニレハムシ H23.6.24 アキニレ
 発生時期: 年2回、4月下旬~落葉前
 発生樹種: アキニレ、ケヤキ、ハルニレ 円内: H23.7.21 アキニレ
 形態等: 成・幼虫が葉を食害。成虫は褐色、体長約6mm、葉を不規則に食害。幼虫は黄色で黒点が散在、8~10mm、葉肉だけを食害。食痕は褐色に変色し枯死するので、著しく美観を損ねる。



フジハムシ H22.6.4 フジ
 発生時期: 成虫 5~7月 円内: H23.5.16 ハギ
 発生樹種: フジ
 形態等: 成・幼虫がフジの若葉を食害。成虫は体長4.5~6mm、頭部・胸部は黒く、前翅は赤褐色だが黒化しているものもある。幼虫は体長約7mm。



ウリハムシ H23.11.2 ピワ(愛西市)
 発生時期: 4~10月
 発生樹種: ウリ科植物、クチナシ、ピワ
 形態等: 鮮やかなオレンジ色をしたハムシ。畑などの農作物を中心に多数発生することがある。体長7~8mm



クロウリハムシ H21.8.28 ムラサキナツジ
 発生時期: 5~10月 成虫
 発生樹種: ウリ科植物、ムラサキナツジ
 形態等: 頭部・胸部は赤みがかった黄色で、前翅と脚は黒。蕾や花、葉を食害する。体長6~7mm



ヘリグロテントウミハムシ <69>
 H23.4.11 ギンモクセイ 円内: H23.5.19 ヒラギモクセイ
 発生時期: 成虫4月上旬~5月中旬、6月中旬~8月 幼虫5月中・下旬 成虫越冬
 発生樹種: ヒラギモクセイ、ヒラギ、ギンモクセイ、イボタノキ
 形態等: 成虫は体長約4mm、黒色地に赤の円形斑紋がありテントウムシに似る。幼虫は組織内に潜入り内部を食害、成虫は葉の裏面を食害する。



ヤナギリハムシ <70>
 H22.4.5 シダレヤナギ 円内: H22.8.13 シダレヤナギ
 発生時期: 年5~6回、成・幼虫 4~11月、成虫越冬
 発生樹種: ドロノキ、ポプラ、シダレヤナギ、ネコヤナギなどヤナギ類
 形態等: 成虫は体長約4mmで青藍色。幼虫は体長約5mm、若齢は黒く見えるが、老齢では黄白色。成・幼虫とも葉を激しく食害する。



サンゴジュハムシ H23.10.14 サンゴジュ
 円内: H23.4.22 サンゴジュ
 発生時期: 年1回、幼虫 4月上旬~5月下旬、成虫 6月~11月(被害は7月上旬~8月上旬に多い)、卵越冬 発生樹種: サンゴジュ、ガズミ、ニワトコ
 形態等: 幼虫は体長約10mm、黄色~黄褐色で各節に黒色斑紋。成虫は体長6~7mmで全体淡褐色。成・幼虫とも葉を不規則に食害。



ドロノキハムシ H22.5.9 ヤナギ(愛西市)
 発生時期: 年2回、成・幼虫 4~9月、成虫越冬
 発生樹種: ドロノキ、ヤマナシ、ポプラ、ハッコヤナギなど
 形態等: 幼虫は体長約15mm、淡桃色で背面に2列の黒点列、側面に2列の黒いぼ状突起がある。成・幼虫とも葉を食害。



リンゴコフキハムシ (別名: コフキサルハムシ) H23.5.2 マンサク
 発生時期: 5~8月
 発生樹種: リンゴ、ナシ、オニグルミ、ウメ、クスギ、エゴノキ
 形態等: 地色は黒色で、白い微毛と白い粉で被われ、全体に灰白色をしている。体長6~7mm



ルリマルノミハムシ H23.8.22 サルスベリ
 発生時期: 3~11月
 発生樹種: サルスベリ
 形態等: 大変小さく、やや青みを帯びた黒色で、花に集まり花粉を食べる。体長約4mm

アゲハチョウ科



アオスジアゲハ H22.9.1 タフノキ
 発生時期: 年2~4回、春~秋、蛹越冬
 発生樹種: クスノキ、タブノキ、ヤブニッケイなど
 形態等: 体長約40~45mm、全体緑色で胸部には小さな眼状紋をつなぐように黄色の横帯がある。



アゲハ <71> 発生時期: 年3~4回、春~秋、蛹越冬 H22.8.9 カラタチ
 発生樹種: サンショウ類、ミカン類、カラタチなど
 形態等: 体長約45mm、全体淡緑色で胴部に線~青緑色の斜帯、腹脚には白斑が並ぶ。

イボタガ科



ナガサキアゲハ H22.8.7 ミカン(愛西市)
 発生時期: 年3~4回、春~秋、蛹越冬 発生樹種: ミカン類、カラタチなど
 形態等: 体長約70mm、全体緑色で、後胸部と腹部の斜帯は白色部が多い。3~4齢は緑色を帯びた鳥糞様。



イボタガ H22.5.16 キンモクセイ(愛西市)
 発生時期: 年1回、5月、土中で蛹越冬
 発生樹種: イボタノキ、モクセイ、トネリコ、ネズミモチ、ヒライギなどモクセイ科
 形態等: 頭部と尾部にある7本の角質の長突起は終齢になるとなくなる。体長約70mm

イラガ科



アオイラガ H23.7.25 カツラ
 発生時期: 年1~2回、6~7月、9~10月、繭の中で前蛹越冬
 発生樹種: サクラ、ヤナギ類、ウメ、カキ、ナシなど
 形態等: ヒロヘリアオイラガに似るが、本種は終齢までを通じて背中によく明るい水色帯状ラインがある。触れると激しい痛みを伴う。体長約25mm



イラガ H23.8.1 セイヨウバケチノキ
 発生時期: 年1~2回、7~8月、9~10月、繭の中で前蛹越冬
 発生樹種: サクラ、カキ、ウメ、ヤナギ類、カエデ類など
 形態等: 孵化幼虫は集合せず、単独で生活する。触れると激しい痛みを伴う。体長約24mm



クロシタアオイラガ H23.7.14 カエデ
 発生時期: 年2回、6~7月、8~9月
 発生樹種: サクラ、ヤナギ、カエデ、ツツジ、カキなど
 形態等: 地色の緑に青や黄色の模様がある。体表の刺毛は鋭く、触れると激しい痛みを伴う。体長約18mm



テングイラガ H23.7.2 アメリカカヨウブ(愛西市)
 発生時期: 年1~2回、6~7月、9~10月
 発生樹種: カキ、サクラ、カエデ類、ヤナギ類、フヨウなど
 形態等: 体色は黄緑色の固体が多いが、赤褐色や赤黄色の固体もある。体長約9mm



ヒメクロイラガ H23.7.18 カキ(愛西市)
 発生時期: 年2回、6~7月、8~9月、土中の繭で越冬
 発生樹種: カキ、サクラ、ミズナラ、ウバメガシ、ヤマモモ、果樹など
 形態等: 体色は淡黄色であるが、刺毛が黒いため全体として黒っぽく見える。触れると激しい痛みを伴う。体長約23mm



ヒロヘリアオイラガ <72> H23.9.26 サザンカ
 発生時期: 年2回、6~7月、8~9月、繭の中で前蛹越冬
 発生樹種: サクラ、ウメ、カキ、カエデ、ナンキンハゼ、ウバメガシなど
 形態等: アオイラガに似るが、背の青い線が細く、老齢幼虫では一對の朱色の棘がある。触れると激しい痛みを伴う。体長約27mm

カイコガ科



クワコ H22.9.9 クワ(稲沢市)
 発生時期: 6月、7月、9月
 発生樹種: ヤマグワ、クワ
 形態等: 野生のカイコで体長約35mm、前胸と頭部は小さく中・後胸から第1腹節にかけて球状にふくらむ。

カギバガ科



アシベニカギバ H23.9.29 ヒメズリハ
 発生時期: 5~10月
 発生樹種: ガマズミ、サンゴジュ
 形態等: 紫色を帯びた暗褐色で、白色の縞模様があり、胸部に突起、腹部先端に縞模様をした尾状突起がある。体長28~40mm



クロスジカギバ <73> H22.5.6 サンゴジュ
 発生時期: 4~11月
 発生樹種: ガマズミ、サンゴジュ、オオデマリ、ニワデマリ、ゴモジ
 形態等: 体長は尾状突起を含めて約40mm、胸部背に顕著な突起がある。



ススカシカギバ H21.9.28 ベニガシフ
 発生時期: 5月、8~9月
 発生樹種: クヌギ、コナラ、ウバメガシ、パニガシフ
 形態等: 鳥の糞に擬態している。頭部と腹部は成長に従って白色になる。体長約40mm

カレハガ科



ヤマトカギバ H22.11.5 クリ
 発生時期: 6月、9~10月、蛹越冬
 発生樹種: クヌギ、コナラ、クリ
 形態等: 体長約16mm、尾端部の突起は約2.5mm、体の表面には細かい凹凸を密布する。葉の表面に頭胸部を丸めて静止していることが多い。



オビカレハ <74> H22.5.4 サクラ(弥富市)
 発生時期: 年1回、3月中旬~5月下旬、卵(小枝に帯状)越冬
 発生樹種: モモ、ウメ、サクラ、ヤナギ、ボブナなど
 形態等: 孵化後、天幕状の巣をつくり群棲、成長につれて移動、分散する。体長約60mm、側面は灰青色、背面には黒色で縁どられた白線、橙色線がある。



カレハガ H22.8.20 ウメ
 発生時期: 年2回、4月中旬~6月中旬、7月~、9月中旬~、幼虫越冬
 発生樹種: モモ、ウメ、ナシ、スモモ、アンズ、サクラなど
 形態等: 体長約90mm、全体にやや扁平、灰白色~灰褐色で中・後胸の背面にピロッド状の褐色軟毛を密生する。



マツカレハ <75> H23.5.9 ストローブマツ
 発生時期: 年1~2回、3月~11月、幼虫越冬
 発生樹種: アカマツ、クロマツ、ゴヨウマツなど
 形態等: 体長約90mm、全体にやや扁平、銀色~黄褐色の大型のケムシで中・後胸の背面に紫藍色の刺毛を密生する。

ケンモンガ科



キバラケンモン H23.11.10 シヤンパンボ(愛西市)
 発生時期: 年2~3回、4~5月、7~11月
 発生樹種: シヤンハイ、ヒサカキ、カワツザクラ、カナメモチなど
 形態等: 体長40~50mm、頭部は黒褐色、胸部は黒色で背面や側面に褐色の模様がある。

コブガ科



アカマエアオリガ H22.10.25 シダレヤナギ
 発生時期: 年2回、7~8月、10~11月、蛹越冬
 発生樹種: ヤナギ類、アキニレ、ハギ
 形態等: 体長約15mm、体色は暗褐色で濃淡があり、背面に菱形を連ねたような白っぽい斑紋がある。



サラサリンガ (別名: サラサヒトリ) H22.5.12 コナラ
 発生時期: 4~5月、幼虫越冬 発生樹種: クヌギ、ナラ類、カン類
 形態等: 体長約35mm、頭部は黒色、胸部は黒褐色の地に多数の細い縦縞が走る。樹幹や枝に灰白色の樹皮様の共同巣を作り越冬する。

コハモグリガ科



ミカンハモグリガ (別名: ミカンコハモグリガ) H22.7.16 ミカン
 発生時期: 年5~8回、4月~秋まで不規則に発生、成虫越冬
 発生樹種: ミカン、ユズ、ザボンなど柑橘類
 形態等: 体長4mm、淡黄色の幼虫が葉肉を潜り、不規則に潜行する。被害葉は発育が阻害される。



キノカワガ H22.7.4 カキ(愛西市)
 発生時期: 年2~3回、6~9月、成虫越冬
 発生樹種: カキ、ママガキ
 形態等: 体長35~40mm、全体黄緑色~鮮緑色、体表は平滑で刺毛は肉眼には目立たない。



ナンキンキノカワガ H22.10.25 ナンキンハゼ
 発生時期: 9~10月 発生樹種: ナンキンハゼ
 形態等: 体長約35mm、頭部は淡黄色、胸部は全体淡緑色で、側面には淡黄白色の縦線、背面には不明瞭な黒線がある。



ベニモンアオリンガ

H23.7.1 チョウセンヤマツツジ

発生時期：年2回、5～6月、8～9月、蛹越冬
発生樹種：ツツジ、サツキ類
形態等：幼虫が新芽に穴をあけて食入したり、新芽や花芽を食害する。被害部は赤く枯れてよく目立つ。全体茶褐色、体長10～15mm



リュウキュウキノカワガ

H22.9.15 ヤマモモ

発生時期：8～9月
発生樹種：ヤマモモ
形態等：体長約30mm、全体淡緑色で側面には不規則な緑の濃淡や白い模様があり、背面には2本の黄白色の縦線がある。



エグリツマエダシャク

H22.3.29 ブルーベリー

発生時期：5～6月、9～10月
発生樹種：ツツジ類、バラ、チャ、ミズキ類
形態等：体長40～50mm、胸部は太い円筒形で灰色、頭部は中央が凹んでおり、折れた小枝に擬態か？。寄主の枝により模様に変異がある。



オオアヤシャク

H22.7.11 シデコブシ(愛西市)

発生時期：ほぼ年間を通じて記録あり、暗褐色の若齢幼虫で越冬
発生樹種：シデコブシ、モクレン、オオヤマレンゲなど
形態等：体長約45mm、全体黄緑色で淡色の不規則な線模様がある。新芽に擬態して静止していることが多く、見つけにくい。

シジミチョウ科



ウラギンシジミ

H23.10.17 ハギ

発生時期：春～秋、成虫越冬
発生樹種：フジ、エンジュ、ハギ
形態等：尾部に突起をそなえる特異な姿のイモムシで、体色は緑色から赤紫色まで変異がある。体長約20mm



ツバメシジミ

H23.10.18 ハギ

発生時期：ほぼ通年、幼虫越冬 発生樹種：ハギ類
形態等：淡緑色で目立つ斑紋はない。マメ科植物の蕾、花を好む。体長11～12mm



オオトビスジエダシャク

H22.6.28 イヌマキ(愛西市)

発生時期：6～7月
発生樹種：ヤナギ、コナラ、クスギ、イヌツゲ、イヌマキなど
形態等：体長約35mm、全体淡黄色～灰白色で、背面にV字の黒色横斑や不明瞭な暗色斑がある。



オカモトゲエダシャク

H23.5.9 アラカン

発生時期：春～初夏、蛹越冬
発生樹種：サクラ、クスギ、ツバキ、ツツジ
形態等：頭部暗褐色で、側面に細い黄白条が不規則に走る。前半身を腹方にひねりを加えて丸め、静止する。体長35～38mm

シャクガ科



ムラサキシジミ

H23.9.15 アラカン

発生時期：春～秋、成虫越冬
発生樹種：アラカン、ウバメガシ、コナラ、クスギ
形態等：電線があり、よくアリが群がる。全体淡黄緑色。体長約18mm



ウスバフユシャク

<76>

H23.4.21 ハナカイドウ

発生時期：年1回、4～5月
発生樹種：カエデ、サクラ、ウメ、ケヤキなど
形態等：体長約20mm、頭部は淡緑色、胸部は淡緑色～黄緑色で側線は太い白条がある。



クワトゲエダシャク

H22.5.9 ヤナギ(愛西市)

発生時期：5月、詳細不明
発生樹種：クワ、リンゴ、フジ、スイカズラ
形態等：体長約40mm、体色は個体差があるが、緑色は5齢・6齢幼虫で見られるようである。希少種のため詳細は不明。



コアヤシャク

H22.10.31 ハギ(三重県いなべ市)

発生時期：4～5月、7～8月に成虫 発生樹種：ハギ
形態等：アヤシャク類の幼虫は擬態の名手で、写真の幼虫はハギの花に擬態していると思われる。写真では胸部に白い気門下線があるが、コアヤシャクには無いとの指摘があり、同定に疑問が残る。



シロオビフユシャク

H22.4.21 マルメロ

発生時期：4月 発生樹種：サクラ、ウメ、ナシ、リンゴなど
形態等：体長約20mm、全体紫灰色、頭部は淡色で暗褐色を散布、胴部は暗褐色に縁取られた白線が屈曲して走る。背面はやや三角形の白斑を縦列するように見える。



トビモンオオエダシャク

H22.6.2 シダレヤナギ

発生時期：年1回、4~6月、蛹越冬
発生樹種：カエデ、サクラ、ナシ、フジ、ヤナギなど
形態等：体長75~90mm、全体暗褐色で灰色を帯び、枯枝に似た色彩と枯枝に擬態するため見つけにくい。左右の頭頂が著大な角状に突出する。



マエキオエダシャク

H22.6.24 クロガネモチ

発生時期：年2回、6~7月、8~9月
発生樹種：イヌツゲ、ソヨゴ、クロガネモチなど
形態等：体長約25mm、後胸から第1腹節にかけて著しく太く、前方は次第に細まり、頭部は小さい。体表は滑らかで波状の灰白線など複雑な模様がある。



ユウマダラエダシャク

<77>

H22.7.2 キンマサキ

発生時期：年2~3回？、6~7月 発生樹種：マサキ、コマユミ
形態等：体長25~30mm、黒色の地に黄色の小斑点をもつ。主に夜に食害し、ときに激発して垣根を丸坊主にする。

シャチホコガ科



ヒトスジマダラエダシャク

H23.9.29 マユミ(愛西市)

発生時期：年2~3回、5、6月以降秋まで
発生樹種：マユミ、コマユミ、ツルウメモドキなど
形態等：体長約25mm、頭部は光沢のある黒色、胴部は黒色で黄色の縦条が走る。刺激を受けると糸で垂れる。



ヒロオビトンボエダシャク

H22.5.16 キンモクセイ(愛西市)

発生時期：年1回、5月
発生樹種：ツルウメモドキ
形態等：体長約40mm、全体白色で頭部、胸部及び腹部の後方は黄色を帯びる。体全体に不定形な黒紋がある。



ヨモギエダシャク

H22.10.25 オオヤエクチナン

発生時期：6~7月、9~10月
発生樹種：柑橘類、ハギ、ヤナギ、チャなど多種
形態等：体長55~60mm、背面の第2腹節に隆起がある。体色は緑色型、淡褐色型、暗褐色型と変異がある。



オオエグリシャチホコ

H22.10.20 フジ

発生時期：年2回、5~9月
発生樹種：フジ、エンジュ、ニセアカシア
形態等：体長約65mm(文献では約44mm)、体全体淡緑色で、黄白色の側線の上側はやや黄色味を帯び、背線は細く暗緑色で両側は白い。



フタナミトビヒメシャク

H21.9.13 ツバキ(愛西市)

発生時期：6月、9月
発生樹種：ムクゲ、シャリンバイ、ツバキ、サツキなど
形態等：体長は30~35mmで著しく細長く、体色は淡緑色あるいは褐色を帯びた灰色。刺激を受けると硬直する。



フトスジエダシャク

H22.10.22 センダン(稲沢市)

発生時期：9~10月、蛹越冬
発生樹種：センダン
形態等：体長約40mm、胴部は黄緑色で、背面から側面に多数黄白色縦条が密に並ぶ。気門線は太い黄白色で顕著、腹面はやや緑色が濃い。



オオトビモンシャチホコ

<78>

H23.5.16 アラクシ

発生時期：年1回、4月下旬~5月下旬、卵越冬
発生樹種：アラカシ、ミスナラ、ウバメガシ、クヌギ、コナラなど
形態等：体長約50mm、全体橙赤色で不規則な黒色斑紋をもつが、個体によって色彩の変化に富む。老齢まで群棲し、ときに大きな被害をもたらす。



ギンシャチホコ

H23.9.12 クリ

発生時期：年1回、7~10月
発生樹種：クヌギ、クリ、コナラ
形態等：体色は緑色で、胴部側面などに褐色紋、背中に枝分かれた突起が並ぶ。尾脚は退化し、つねに尾部を浮かせている。体長約45mm



クワゴモドキシャチホコ

H23.6.20 シダレヤナギ

発生時期: 6月
発生樹種: シダレヤナギ
形態等: 全体青白色で、細かい白斑。体長約23mm



セグロシャチホコ

H22.6.25 イイギリ

発生時期: 年2~3回、4月、6月、8~9月、幼虫越冬
発生樹種: ヤナギ類、イイギリ、ポプラ
形態等: 体長約35mm、全体灰褐色で背面に黒褐色の縦線があり、その両側は灰黄色。



ムクツマギシャチホコ

H22.9.6 ケヤキ

発生時期: 年1回、8~9月
発生樹種: アキニレ、ムクノキ、ケヤキ
形態等: 体長約45mm、体の地色は黒で黄白色の縦線が走り、各節は紅赤斑で区切られる。背方に向かって直立する白色の刺毛群が顕著である。



モンクロギンシャチホコ

H23.8.22 セイヨウバクチノキ

発生時期: 6~9月 発生樹種: サクラ類
形態等: 体長30~40mm、体は複雑な配色と模様特徴的で、背面は頭部から尾部まで紅~赤茶色の濃淡模様で連なり、淡緑色の側面まで入り組む。



セダカシャチホコ

H23.8.29 コナラ

発生時期: 8~9月
発生樹種: クリ、クヌギ、カン類、セイヨウブナ
形態等: 体長約50mm、体色は全体緑色で、赤褐色で大きな大臍(口元)と、白環に囲まれた赤褐色の気門が目立つ。



タカサゴツマギシャチホコ

H22.9.10 コナラ

発生時期: 年1回、8~9月 発生樹種: クヌギ、コナラ
形態等: 体長約45mm、年齢によって体色、模様が大きく変化する。老齢では全体淡灰褐色で、細かい黄白色の点が密布し、前胸に黒褐色の毛束を出



モンクロシャチホコ

<79>

H23.8.18 ウメ

発生時期: 年1回、8月上旬~9月下旬、蛹越冬
発生樹種: ウメ、サクラ、リンゴ、モモ、アメリカザイフリボクなど
形態等: 体長約50mm、全体紫黒色で黄白色の長毛をもつ。若齢・中齢時は茶褐色~紅褐色で刺毛は長くない。しばしば大発生し大きな被害をもたらす。



キタキチヨウ

H23.9.1 サイカチ

発生時期: 春~秋数回、成虫越冬
発生樹種: ネムノキ、ハギ類、サイカチ
形態等: 全体青緑色で、白色の気門線がくっきりしている。体長約30mm



ツマアカシャチホコ

H21.10.9 シダレヤナギ

発生時期: 年2~3回、蛹越冬
発生樹種: ヤナギ類、ハコヤナギ類
形態等: 体長約40mm、全体暗褐色で背面は灰白色。



ナカグロモクメシャチホコ

H21.10.13 シダレヤナギ

発生時期: 年2回、5~7月、8~10月、蛹越冬
発生樹種: ヤナギ類、ポプラ類
形態等: 体長約35mm、全体淡緑色で背面に淡黒褐色で菱形の斑紋があり、長い尾状突起をもつ。



ウチスズメ

H23.10.17 シダレヤナギ

発生時期: 年2回、6~7月、9~10月、蛹越冬 発生樹種: ヤナギ類、ポプラ
形態等: 体長70~80mm、全体緑色で、黄白色の顆粒を散布する。頭部は縦長の三角形で側方に黄白色の縦線があり、気門は灰白色で黒環を有し、その周辺は暗紫色斑で囲まれる。



ウンモンスズメ

H23.10.17 ハギ

発生時期: 年2回、6~7月、8~9月、蛹越冬 発生樹種: ケヤキ、アキニレ
形態等: 体長60~70mm、体色は緑色型、赤斑型など変異があるが、いずれも腹部の7斜線のうち第1・3・5・7のものが顕著で、赤斑型ではこの斜線に大型の赤褐色斑を有する。



エゾスズメ H21.9.25 シナサワグルミ

発生時期: 年1回、7~8月、蛹越冬
発生樹種: オニグルミ、シナサワグルミ
形態等: 体長約85mm、頭部は三角形で側面は丸みを帯び、若齢では長く突出する。尾角は長く12~13mm。体色は緑色型のほか褐色型もある。



オオスカシバ <80> H21.8.5 オオヤエクチナン

発生時期: 年2回、6~10月、蛹越冬 発生樹種: クチナン
形態等: 体長60~65mm、緑色型と褐色型があり、緑色型では胴部は黄緑色、背面は青白色を帯びて蟻のような光沢があり、白色の側線が走る。他のスズメガと異なり、腹部に斜線はない。



ホシヒメホウジャク H23.5.19 ハクチョウゲ

発生時期: 年2回、6~9月、蛹又は成虫越冬
発生樹種: ヘクソカズラ、ハクチョウゲ
形態等: 体長45~55mm、頭部は小さく、胸部は前方に向かって細まる。体色は緑色~褐色まで変異に富み、斑紋の程度にも大きな変異がある。



モモスズメ H22.7.5 オオシマザクラ

発生時期: 年2回、6~10月、蛹越冬
発生樹種: サクラ、モモ、ウメ、ナシ、リンゴ、ビワなど
形態等: 体長70~80mm、全体黄緑色~緑色で黄白色ないし白色の顆粒を密布、腹部の7斜線も黄白色ないし白色で最後の斜線が最も明瞭。頭部は縦長の三角形で顆粒を散布する。



コスズメ H23.10.13 ブドウ

発生時期: 年2回、6~10月、蛹越冬
発生樹種: ブドウ、ノブドウ、ツタ、ノリウツギ
形態等: 体長75~80mm、全体赤褐色~緑褐色で、背面はやや濃色、側面はやや淡色。



シモフリスズメ H21.9.4 セイヨウニンジンボウ

発生時期: 年2回、6~10月、蛹越冬
発生樹種: モクセイ、ネズミモチ、ノウゼンカズラ、ヒトツバタゴなど多種
形態等: 体長70~90mm、頭部はほぼ円形で、腹部に7条の顕著な白色斜線がある。表面は平滑であるが、若齢では全体に顆粒を密布する。緑色型と褐色型がある。

タテハチョウ科



イチモンジチョウ H22.4.28 ハコネウツギ

発生時期: 年1~4回、春~秋、幼虫越冬
発生樹種: スイカズラ、タニウツギなど
形態等: 体長約25mm、濃緑色で全体に白色の微小な隆起がある。背面には棘状の突起列がある。



ゴマダラチョウ H23.8.4 エノキ

発生時期: 年1~3回、春~秋、幼虫越冬 発生樹種: エノキ、エゾエノキなど
形態等: 体長約39mm、地色は青緑色で頭部には長い角、背には大小3対の突起がある。



トビイロスズメ H22.10.15 ハギ

発生時期: 8~10月、幼虫越冬 発生樹種: ハギ、フジ、ニセアカシアなどマメ科
形態等: 体長80~85mm、頭部は大きく丸みが強い。体全面に顆粒を密布。腹部には7条の黄白色の斜線があり、最後の斜線は尾角基部に至る。尾角は短小で4.5~5mm。



ブドウスズメ H22.9.24 ブドウ

発生時期: 年2回、6~7月、8~9月、蛹越冬
発生樹種: ブドウ、ノブドウなどブドウ科
形態等: 体長75~80mm、鮮明な黄色の側線と7本の斜線がある。頭部は比較的小さく、側方に黄色の縦線がある。



コムラサキ H22.9.27 シダレヤナギ

発生時期: 年3~4回、春~秋、幼虫越冬
発生樹種: シダレヤナギ、ドロノキ、ボブラなど
形態等: 体長約38mm、細長い体形で体色は緑色、頭部には長い角、背には1対の突起がある。



アオギリチビガ H23.8.11 アオギリ

発生時期: 年5~6回、蛹越冬
発生樹種: アオギリ
形態等: 若齢幼虫が葉に潜入してして食害し、成長すると裏面表皮を残して組織をかじる。食痕は白斑状~褐色になり、よく目立つ。

ツトガ科



ウスオビキノメイガ

H23.7.21 クロチク

発生時期：年1回、5~7月
発生樹種：モウソウチク、マダケ
形態等：体長約20mm、全体黄褐色で、タケの葉を縦って中で食害する。



クロスジギンノメイガ

H22.8.27 スモークツリー

(別名：ヘリグロキンノメイガ)
発生時期：8~9月
発生樹種：ヌルデ、クヌギ、クリ、スモークツリー、ウメ
形態等：体長約19mm、頭部は黄褐色、胸部は黄白色で透明に見える緑色が混じる。葉を巻いて食害する。



ツゲノメイガ

<81>

H23.4.22 セイヨウツゲ

発生時期：年3~4回、3~10月 発生樹種：ツゲ、イヌツゲ、セイヨウツゲ
形態等：体長約35mm、頭部は光沢のある黒色、胸部は黄緑色で緑と黒のまだら模様がある。新梢や新葉に糸を張って食害し、多発すると葉が皆無になることがある。



マエアカスカシノメイガ

<82>

H22.10.4 イボタノキ

発生時期：年2~3回、4~5月、9~11月、蛹越冬
発生樹種：ネズミモチ、イボタノキ、キンモクセイ、ヒイラギなど
形態等：体長17~20mm、頭部は淡い黄褐色、胸部は淡黄褐色。葉をつつて内側の表皮と葉肉を食害する。



クワノメイガ

H23.6.19 ヤマグワ(江南市)

発生時期：年2回、5~6月、8~9月の被害が多い、幼虫越冬
発生樹種：クワ
形態等：体長約20mm、頭部は淡い黄褐色、胸部は黄緑色で背面はやや濃色。新葉をつつて中に棲み、葉の片面の表皮と葉肉のみを食害する。



シロマダランノメイガ

H23.6.16 キョウチクトウ

発生時期：年3回、6月~(7~8月の被害が多い)
発生樹種：キョウチクトウ
形態等：体長約15mmで淡黄緑色の幼虫が、つぼみや花を食害する。被害部は黒く乾固して枯れる。



モモゴマダランノメイガ

H23.6.22 ピロ

発生時期：年2~3回、4月下旬~10月下旬、幼虫越冬
発生樹種：果樹種：クリ、モモ、柑橘類など、針葉樹種：マツ類、モミ、ツガなど
形態等：体長約25mm、全体暗紅色。果樹種は果実内に食入して虫糞を出す。針葉樹種は新梢部に糞をつつて中に住み、葉を食害する。両型は別種とも言われている。



ヨスジノメイガ

H22.4.6 ムラサキシキブ

発生時期：4月、6月、8~9月 発生樹種：ムラサキシキブ、コムラサキ
形態等：体長約28mm、背面は緑がかかった灰白色、側面は淡黄色で全体に黒点が散在する。

ドクガ科



セスジノメイガ

H23.4.11 クマザサ

発生時期：年2回、5~6月、8~9月
発生樹種：マダケ、モウソウチク、ハチク
形態等：体長約20mm、頭部は暗褐色、胸部は淡緑色のイモムシが数枚の葉を縦って中で食害する。



タイワンウスキノメイガ

H22.10.15 シダレヤナギ

発生時期：9~10月
発生樹種：ホブラ、シダレヤナギ
形態等：体長約25mm、全体淡緑色。葉っぱの重なった部分や葉っぱを折り曲げて糸で繭を作る。



ワタノメイガ

H23.6.24 フヨウ

発生時期：年3回、9~10月の被害目立つ、幼虫越冬
発生樹種：ワタ、フヨウ、ムクゲなど
形態等：体長約22mm、全体淡緑色、頭部は褐色で黒褐色の斑を連ねた斑がある。1~2枚の葉を管状に巻いて中で食害する。



ウチジロマイマイ

H23.8.25 オオイトスギ

発生時期：年2回、5月頃、7~8月、卵又は幼虫越冬
発生樹種：カイズカイブキ、ハイバクシン、ヒノキ、ヒバ
形態等：体長約30mm、頭部は黄褐色、胸部は黄褐色又は緑褐色で、背面や側面に灰白色の縦線がある。



ゴマフリドクガ

H22.4.23 イヌマキ

発生時期：年1〜3回、4月、6〜7月、12月にも記録あり
発生樹種：ヒサカキ、サクラ、イヌマキ、シヤンパンボなど
形態等：黒とオレンジの模様が派手な毛虫で、第1〜2節のこぶにブラシ状の毛がある。モンシロドクガに似るが胸背部の紋様が異なる。毒毛をもつと思われる。



スギドクガ

H23.4.28 コニファー

発生時期：年2回、4〜5月、7〜8月、幼虫越冬(11〜3月に記録あり)
発生樹種：スギ、ヒマラヤスギ、オオイトスギ、ハリモミなど
形態等：体長約40mm、体色は鮮やかな緑色で背面や側面に白色の帯斑がある。背面には白と栗色の毛束(4束)が縦に並ぶ。



モンシロドクガ

H23.8.1 モッコウバラ

発生時期：年2〜3回、4〜9月、幼虫越冬
発生樹種：サクラ、ウメ、ナン、リンゴなど
形態等：体長約25mm、体は黒色で背面には幅広い橙黄色帯が走る。ゴマフリドクガに似るが胸背部の紋様が異なる。



カキノヘタムシガ

H22.7.4 カキ(愛西市)

発生時期：年2回、6月上旬〜7月中旬、7月下旬〜10月(主に6月、8月)幼虫越冬
発生樹種：カキ 形態等：体長約11mm、頭部は朱色、胴部は帯紫褐色。果実のへた部に食入し、6月の被害果は暗緑色に軟化して落下したり、乾燥して枝に永く着果する。8月の被害果は9月頃に早熟して落果する。



チャドクガ

<83>

H23.5.26 ヤブツバキ

発生時期：年2回、4月下旬〜6月下旬、7月下旬〜9月下旬、卵越冬
発生樹種：ツバキ、サザンカ、チャなど
形態等：体長約25mm、体色は黄色〜黄褐色。集合性が強く並んで食害する。成・幼虫とも毒刺毛をもつので要注意。



ヒメシロモンドクガ

H23.8.29 カキ

発生時期：年3〜4回、5〜7月、10月、卵越冬
発生樹種：サクラ、ウメ、プラタナス、バラ、ツツジ、ポプラなど
形態等：体長約40mm、全体黄褐色〜暗褐色、背面には幅広い黒色縦帯がある。第1〜4腹節のブラシ状の毛束は白色が多いが、黄色や褐色を帯びる個体もある。

ネムスガ科



ネムスガ

<84>

(別名：ネムノキスガ)

H23.7.26 サイカチ

発生時期：年2回、6〜10月、蛹越冬
発生樹種：ネムノキ、サイカチ
形態等：体長約14mm、胴部全体が灰褐色で黄緑色の背線がある。葉をつづり合わせて加害するため被害部が茶褐色になりよく目立つ。

ハマキガ科



クロネハイロヒメハマキ

(別名：クロネハイロハマキ)

H23.6.23 イヌツゲ

発生時期：年3〜5回、4月下旬〜 卵越冬
発生樹種：イヌツゲ、ネズミモチ、クログナモチなど
形態等：体長約10mmで体色は暗褐色〜暗黄色。2〜3枚の葉を綴って中で食害。被害箇所が茶褐色になり美観を損ねる。



マイマイガ

H22.5.16 サツキ(愛西市)

発生時期：年1回、4〜6月、卵越冬
発生樹種：サクラ、ウメ、ヤナギ、ポプラ、カエデ、ツツジなど多種
形態等：体長約60mm、頭部は黄褐色で黒くて太い八字紋がある。体は灰黄色で背面には青や赤の瘤起があり黒くて鋭い棘がある。



マメドクガ

H22.5.26 モミジバズカケノキ

発生時期：年3回、4〜5月、7〜9月、幼虫越冬
発生樹種：フジ、ケヤキ、コナラ、カイドウなど
形態等：体長約40mm、体は黒褐色で背面の歯ブラシ状の毛束は暗茶褐色。第1・2腹節の側面から黒い毛束が直角に突出する。



スジオビヒメハマキ

(別名：スジオビハマキ)

H23.6.29 ホルトノキ

発生時期：9〜10月
発生樹種：ホルトノキ、コナンモチ
形態等：葉を巻いて体長約7mmのイモムシが潜む。体色は透明感のある淡緑色で頭部は黒色。



チャハマキ

H22.6.9 イヌマキ(愛西市)

発生時期：年3〜4回、春〜秋、幼虫越冬
発生樹種：ナシ、カキ、柑橘類、イヌマキ、サンゴジュなど多種
形態等：体長約23〜29mm、体色は濃緑色から灰色を帯びた淡緑色まで変化が多い。頭部は茶褐色ないし褐色。葉を糸でつづり合わせて中に棲む。



ナシヒメシンクイ

H23.10.14 レッドロビン

発生時期：年3～5回、8～9月（幼虫による新梢の食害）
発生樹種：ナシ、モモ、リンゴ、ウメ、ペニカナメ
形態等：体長10～13mm、全体赤味をおびた橙黄色。果樹害虫として古くから
著名で、幼虫は各種の落葉樹の新梢と果実内部に食入加害する。



ミダレカクモンハマキ

H22.5.6 オウゴンオオハイボタキ

発生時期：年1回、4～5月、卵越冬
発生樹種：リンゴ、ウメ、ナシ、カキ、サクラ、キンモクセイ、カナメモチなど
形態等：体長約22mm、全体淡緑色～灰黄緑色、頭部は茶褐色（中齢では黒
色）、前胸背は黒褐色で前半は黄褐色。葉をつぶり合わせて食害。

ホソガ科



カキホソガ

H23.8.4 カキ

（別名：カキノハモグリ、カキアシブサホソガ）
発生時期：年5回位、8月上中旬と9月中下旬の被害が大きい。
発生樹種：カキ
形態等：体長5～7mm、淡黄色～緑色。葉肉が食害されて半透明の中空がで
き、被害部はやがて褐色～茶褐色になり、早期に落葉する。



チャノホソガ

H22.10.1 レッドロビン

発生時期：年6～7回、蛹越冬 発生樹種：チャ、サザンカ、ツバキ
形態等：体長7～10mm、乳白色半透明で光沢がある。新葉の先端部を巻いて
中で食害する。



モッコクヒメハマキ

H23.8.4 モッコク

（別名：モッコクハマキ）
発生時期：年2～4回、5月上旬～秋まで不規則に発生、蛹越冬
発生樹種：モッコク
形態等：体長約15mm、全体赤褐色。新梢先端の葉をつぶり合わせ、中で葉肉
を食害。被害葉は茶褐色になり落葉する。



ヤマモモヒメハマキ

H23.10.11 ヤマモモ

（別名：ヤマモモハマキ）
発生時期：年2回、5～6月、7～8月
発生樹種：ヤマモモ
形態等：体長16～19mm、体色は黄緑色と暗褐色の2つの型がある。新梢先端
の葉をつぶり合わせ、中で新芽や葉を食害。動作は敏捷である。

マダラガ科



ハスオビキンモンホソガ

H22.8.13 クリ

発生時期：6～8月
発生樹種：クリ、ミズナラ、コナラ
形態等：体長約5mm、黄白色で、胴部の凸凹が目立つ幼虫が葉裏の表皮内で
葉肉を食害する。



ウメスカシクロバ

H22.5.15 サトザクラ（岐阜県各務原市）

発生時期：年1回、4月上旬～5月中旬
発生樹種：サクラ、ウメ、モモなど
形態等：体長約20mm、黒褐色で、胴部は第2腹節で太くふくれる。白色のやや
長い刺毛がマーガレットの花のように輪生する。触れると痒くなる。

ヒトリガ科



アメリカシロヒトリ

<85>

H22.6.28 ガズミヌダム

発生時期：年2～3回、6月上旬～7月上旬、7月下旬～8月中旬、9月上旬～10
月下旬、蛹越冬 発生樹種：サクラ、カエデ、ウメ、ラクウショウ、ヒトツバタゴ
など多種 形態等：体長約30mm、体は背面灰黒色、側面淡黄色で長毛を密生
する。若齢時は天幕状の巣に群棲し、葉肉のみを食うので葉は白くかすり状
になる。成長するにつれて分散し葉を食害し、大害を与える。



スジモンヒトリ

H23.9.26 セイヨウニワトコ

発生時期：年2回、4～6月、7～9月
発生樹種：クワ、ケヤキ、サクラ、ハギ、ソシロウバイなど
形態等：体長約40mm、体は円筒形で暗褐色、各節から茶色の毛が生え、白く
て長い毛が混じる。



タケノホソクロバ

H22.10.12 シイヤザサ

発生時期：年2～3回、5～6月、7～8月、10月にも記録あり
発生樹種：タケ、ササ類
形態等：体長約18mmで全体黄褐色～淡黄褐色。体毛は有毒で触れると発疹
する。



ホタルガ

H22.5.3 ヒサカキ（岐阜県各務原市）

発生時期：年2回、4～6月、8～9月、幼虫越冬
発生樹種：ヒサカキ、マサキ
形態等：体長約27mm、体色は黄色で黒色帯に縁どられた華麗な幼虫。触れ
ると特有の臭い液を出し、この液に触れるとかぶれる。



ミノウスバ <86> H23.3.29 キンマサキ
 発生時期:年1回、3月~5月、卵越冬
 発生樹種:マサキ、マユミ、ニシキギ、ヒサカキ
 形態等:体長約20mm、全体黄白色で6本の黒褐色の縦線がある。ときに激発して樹を丸裸にする。



リンゴハマキクロバ H23.5.6 マメナン
 発生時期:年1回、4~6月、7~8月~、幼虫越冬
 発生樹種:ナシ、リンゴ、サクラ、カイドウなど
 形態等:体長約20mm、全体淡黄褐色で褐色の斑紋を直線状に散在する。葉縁をつつて袋状とし、中で葉肉を食害する。



クシヒゲシマメイガ H23.5.22 アラクシ(岐阜県海津市)
 発生時期:年1回、5~6月
 発生樹種:カシ、クヌギ、クリ
 形態等:体長約33mm、背面に橙色の太い線が縦走する。若齢幼虫は集合性が強く、枝葉に糸を張って、群生し食害する。



トサカフトメイガ <89> H22.7.30 シナサワグルミ
 発生時期:年1回、7月中旬~9月中旬
 発生樹種:ヌルデ、クルミ、スモークツリー、ハゼノキ
 形態等:体長約40mm、頭部は光沢のある黒色、胸部は赤色がかった橙褐色で、側面の暗褐色帯の中に白斑が散在する。糸で天幕状の巣をつくり中で群棲して加害する。

ミノガ科



オオミノガ <87> H23.8.16 クリ
 発生時期:年1回、ミノの中で幼虫越冬、成虫5月下旬~7月上旬
 発生樹種:カキ、ウメ、柑橘類、クリ、サクラ、カナメモチなど多種
 形態等:木の葉を集めて4~5cmの紡錘形のミノを作り、葉を食害する。



(コミノ) <87> H23.9.26 イタリア・サイプレス
 形態等:ミノガの若齢虫で、集団で葉や果実、枝の表皮をかじる。

メイガ科



チャミノガ <87> H23.10.20 ミヤギノハギ
 発生時期:年1回、ミノの中で幼虫越冬、成虫6月上旬~7月中旬
 発生樹種:サクラ、チャ、ツツジ、カエデ、柑橘類、サンゴジュなど多種
 形態等:小枝を多数つけて3~4cmの円筒形のミノを作り、葉を食害する。



アオフトメイガ <88> H23.11.1 ヤマコウバシ
 発生時期:7月上旬~9月上旬、9月下旬~11月下旬
 発生樹種:クスノギ、タブノキ、ヤマコウバシ、クロモジ、アブラチャンなど
 形態等:体長約30mm、葉や枝を吐糸で固めた巣を作り、黒褐色の幼虫が数匹棲む。巣は内部から食害され枯死して暗褐色となる。



トビマダラメイガ H23.5.2 サザンカ
 発生時期:年2~3回、7~8月、11月
 発生樹種:ツバキ、サザンカ、サカキ、チャなど
 形態等:体長約20mm、黄褐色で背面には鎖状の斑紋がある。葉表に糸を張って巣をつくり、葉表の葉肉だけを食害する。



ナカアオフトメイガ H23.7.11 ガズミヌダム
 発生時期:7~9月
 発生樹種:サンゴジュ、アメリカザイフリボク、ウツギ、ハウクンボク、サクラなど
 形態等:葉表に糸を張って宙に浮いた状態にすることが多い。全体淡黄白色で背面には黒斑があり、側面には数本の黒線が走る。



ナツメマダラメイガ H23.10.17 ナツメ
 発生時期:10月(詳細不明)
 発生樹種:ナツメ
 形態等:体長10~12mm、葉を綴ったり、葉上に巣を張って葉を食害。多発すると枯木状になるほどの大きな被害を与える。



マエジロマダラメイガ H22.7.5 サンゴジュ
 発生時期:7~8月
 発生樹種:ネズミモチ、サンゴジュ
 形態等:体長約15mm、暗黄褐色の幼虫が、実を沢山取り込んだ粘着力の強いクモの巣状の巣をつくり実を食害する。

ヤガ科



アオアツバ H22.10.14 ハギ
 発生時期: 8月、10月、詳細不明
 発生樹種: マドハギ、マルバハギ、ミヤギノハギ
 形態等: 体長約20mm、体全体が淡緑色で、体や頭に小さい黒点がある。



アカキリバ H22.9.27 ラズベリー
 発生時期: 8~9月
 発生樹種: ムクゲ、クヌギ、イチイガシ、ラズベリー
 形態等: 体長約40mm、体全体が鮮緑色で、白く縁どられた黒点が点在する。尾部には一対の白斑がある。



オオアカキリバ H22.10.15 ムクゲ
 発生時期: 6~7月、8~9月
 発生樹種: ムクゲ、フヨウ
 形態等: 体長約40mm、頭部は灰褐色の地に暗色の雲状斑があり、胴部は灰褐色ないし緑褐色を帯びた暗褐色、刺毛基部の突起は黒い。



オオウンモンクチバ H22.10.14 ハギ
 発生時期: 7~8月、9~10月 発生樹種: フジ、エニシダ、ハギ
 形態等: 体長約60mm、体形は細長く、第3・4腹脚を欠ぎ尺取虫状。頭部は薄い褐色と白色の縦縞があり、側面に特に太い白条が2条ある。胴部は灰白色の地に不規則な褐色点列が縦走、腹面は暗灰褐色。



アカテンクチバ H24.5.24 フジ
 発生時期: 5~6月、8~9月 発生樹種: フジ、クス
 形態等: 体長約50mm、体は胴部中央が太く、前後両端に向かって細まる。頭部は暗灰白色の地に褐色網状斑があり、胴部は暗灰白色の地に褐色細点を密布し、不明瞭な縦条がある。



アカバキリバ H23.5.31 サワグルミ
 発生時期: 年1回、5~6月、蛹越冬
 発生樹種: クヌギ、ナラ、クリ、サクラ、リンゴ
 形態等: 葉を縦に二折するように巻いて中に棲む。体長約40mm、頭部は赤褐色、胴部は黒灰色で各環節に周辺がぼけた大きな黒斑がある。



オオタバコガ H23.10.17 ハギ
 発生時期: 10月中旬
 発生樹種: シチメンフヨウ、ハギ
 形態等: 野菜(トマト、ナスなど)や花き(キク、バラなど)の重要害虫である。黄緑色型と黄褐色型があり、体の表面には微細な顆粒を密布する。



カキバトモエ H21.9.3 ネムノキ
 発生時期: 年2回、7~9月、蛹越冬 発生樹種: ネムノキ
 形態等: 体長70~75mm、体形は太く長大で胸部前方へ細まる。頭部は大形、顔面中央が幅広く黄灰色で側方は暗褐色の網状斑、顔面に沿う部分はほとんど黒となる。



アケビコノハ H21.9.16 ホソバメギ
 発生時期: 年2回、5~6月、7~9月(8月に多い)、成虫越冬
 発生樹種: アケビ、ムベなど
 形態等: 体長約75mmの円筒形で、暗紫褐色のものに淡褐色を帯びた緑色のものの2型ある。腹部に眼状紋があり、静止時は胸部と腹部を円く曲げ尾脚を立てて休息する。



アシブトクチバ H21.10.8 ザクロ
 発生時期: 7~8月、9~10月
 発生樹種: ザクロ、サルスベリ、ヒツツバハギ、イイギリ
 形態等: 体長55~65mm、体形は細長く胴部中央で最も太く両端に向かって細まり尾端はやや扁平となる。第4腹脚はやや小型で第3腹脚はさらに小型となる。体色は変異がある。



キシタバ H24.5.2 フジ
 発生時期: 年1回、4~5月 発生樹種: フジ
 形態等: 体長55~65mm、胴部は中央部で太く、尾端はやや扁平となり尾脚を後方にのばす。頭部は黒色で不規則な数本の白条が縦に走る。胴部は黄白色の地に多数の細い黒条が縦走する。



キバラモクメキリガ H22.5.6 サラサウツギ
 発生時期: 年1回、5~6月、成虫越冬
 発生樹種: ナシ、サクラ、サラサウツギ、エノキなど
 形態等: 体長約55mm、4齢までは全体緑色で白い側線が目立つが、終齢になると異種のように薄茶色~赤褐色に変身し、背楯の黒色が目立つ。



コフサヤガ H23.8.9 スモークツリー
 発生時期: 8月(詳細不明)
 発生樹種: ハゼ、スルデ、クヌギ、コナラ、ウバメガシ
 形態等: フサヤガに酷似するが、体全体にある白点紋は本種の方が多い。体長25~30mm



サクラケンモン H21.10.13 ウメ
 発生時期: 年2回、6~8月、10~11月、蛹越冬
 発生樹種: ウメ、サクラ、ナシ、リンゴ、モモなど
 形態等: 体長約30mm、全体淡黄色を帯びた緑色、背面は中央部が隆起し、暗紫褐色~赤褐色。



ナカグロクチバ H23.9.26 ナンキンハゼ
 発生時期: 9~10月(詳細不明)
 発生樹種: サルスベリ、ザクロ、ナンキンハゼ
 形態等: 体長約60mm、全体濃い青緑色で、側面下方には明瞭な淡色の縦線がある。



ナシケンモン H23.11.9 フイリサカキ
 発生時期: 年2~3回、5~11月(6・8・11月に多発)、蛹越冬
 発生樹種: ナシ、サクラ、スモモ、ヤナギなど多種
 形態等: 体長約30mm、頭部は光沢があり、体色は黒色型(写真)と褐色型がある。体形も個体変異が大きい。



シマケンモン H23.8.11 ヒラギモクセイ
 発生時期: 7~9月
 発生樹種: ナズミモチ、ヒラギ、ツバキ、ヒラギモクセイ
 形態等: 体長約32mm、頭部は薄緑色で黒い点描模様、胴部は全体緑色で尾部に一對の白線がある。



シロシタケンモン H23.8.11 アキニレ
 発生時期: 8~9月 発生樹種: アキニレ
 形態等: 体長約45mm、体は太く、やや側扁する。頭部は暗赤褐色で、胴部は暗い灰褐色、体表面には著しく尖った大小の刺状顆粒を密布し、比較的長い刺毛を疎生する。



ノコメガリキリガ H22.4.14 ウメ
 発生時期: 年1回、3月上旬~4月下旬、卵越冬
 発生樹種: モモ、ナシ、リンゴ、ウメ、ツバキ
 形態等: 体長約40mm、体は太い円筒形、頭部は暗赤褐色で、胴部は灰褐色の地に不規則な暗色細斑を密布して暗褐色



フサヤガ H23.5.24 スモークツリー
 発生時期: 5月
 発生樹種: スルデ、ハゼ、スモークツリー
 形態等: 体長約35mm、頭部は淡褐色を帯びた緑色、胴部は淡緑色で白点を散布、背に明瞭な白色条がある。



スモモキリガ H23.4.26 アキニレ
 発生時期: 年1回、4~5月、蛹越冬
 発生樹種: サクラ、ウメ、スモモ、リンゴ
 形態等: 体長約40mm、頭部は黄褐色、胴部は灰褐色で背に細い灰白線が断続する。第1腹節で気門の後方上部に鮮明な小白紋がある。



トビイロトラガ H22.9.24 ナツツタ
 発生時期: 年2回、6~7月、8~9月、蛹越冬
 発生樹種: ブドウ、ツタ
 形態等: 体長約40mm、頭部は橙黄色、胸腹部の側面は橙褐色、背面は白色で刺毛基部の黒色斑が大きい。



フタトガリコヤガ H21.8.18 フヨウ
 発生時期: 年2回、6~7月、9~10月、土中で前蛹越冬
 発生樹種: フヨウ、ムクゲなど
 形態等: 体長35~40mm、全体緑色の地で背面には各節に黒斑があり、黄色の背線が鮮やかである。



ホソオビアシブトクチバ H22.11.2 バラ
 発生時期: 年3回、6~7月、9~10月 発生樹種: バラ
 形態等: 体長約60mm、頭部は灰白色の地に黒点を密布、一部連なって網目状を呈する。胴部は灰白~淡灰褐色で、第1腹節の背面に灰白色のやや曲玉形の楕円紋が目立つ。



リンゴケンモン

H23.11.2 ウメ

発生時期: 年2回、6月上旬~7月上旬、7月下旬~10月、蛹越冬
発生樹種: ウメ、サクラ、リンゴ、ヤナギなど
形態等: 体長約45mm、頭部は光沢のある黒色、胴部は紫黒色で背線と気門線は橙黄色、全体に長い刺毛を密生する。



ワモンキシタバ

H22.4.21 ウメ

発生時期: 年1回、5~6月
発生樹種: マメザクラ、ウメ、リンゴ、スモモ
形態等: 体長約60mm、全体銀灰色で、腹部の背には前方に2対の短い突起があり、その後方には1本の大きな突起がある。

ヤママユガ科



オオミズアオ

H23.10.1 カエデ

発生時期: 年2回、5~7月、8~9月
発生樹種: サクラ、ウメ、カシ、コナラ、カエデ、ザクロ
形態等: 体長約75mm、全体黄緑色。初令幼虫は黒色、2令で赤褐色となり、3令から淡緑色となる。



クスサン <90>

H23.6.3 サワグルミ

発生時期: 年1回、4~6月下旬、卵越冬
発生樹種: クスギ、コナラ、クリ、ケヤキ、クミなど多種
発生樹種: イボタノキ、ネズミモチ
形態等: 体長80~100mm、大型のケムシで、若齢時は黒っぽい、4齢で淡緑黄色に変わり、その後は全体青味を帯び白色の長毛を密生する。老熟するとスカンダワラと呼ばれる繭の中で蛹となる。

ハチ目(膜翅目)

コンボウハバチ科

ハバチ科



ホシアシブトハバチ

H22.5.26 アキニレ

発生時期: 5月
発生樹種: エノキ、アキニレ
形態等: 体全体が黄色で黒斑が散在、頭部は黒色。



オオシロオビクロハバチ

H23.11.14 モッコウバラ

発生時期: 年2~3回、4~5月、7~8月、10月に成虫、前蛹越冬
発生樹種: バラ類
形態等: 体長約15mm、全体灰色がかった黄緑色。摂食時は体を伸ばすが、摂食していないときは渦巻状に円くなる。



コクロハバチ

H21.10.4 イボタノキ(愛西市)

発生時期: 年1回、5月上旬~6月
発生樹種: イボタノキ、ネズミモチ
形態等: 体長約22mm、全体灰緑色で白色蠟物質で覆われている。頭部は黄褐色。文献では年1回の発生とされているが、10月上・中旬にも観察している。



コブシハバチ <91>

H23.5.26 コブシ

発生時期: 年1回、5月上旬~6月上旬
発生樹種: コブシ、モクレン
形態等: 体長20~30mm、全体黄緑色~黄土色で頭部は黒色。食害量が多く、しばしば樹を丸坊主にする。



サクラホソハバチ

H23.5.9 コナラ

発生時期: 4月下旬~5月上旬 発生樹種: コナラ、ミズナラ、カシワ、サクラ
形態等: 体長約15mm、体色は灰緑色~鮮緑色で、体全体に先端が二股に分かれた棘(透明~黒色)がある。



ネマトスハバチ

H23.5.16 オオシマザクラ

発生時期: 5~6月 発生樹種: サクラ
形態等: 体長約20mm、全体黄緑色で頭部は黒褐色。

ヒラタハバチ科



サクラヒラタハバチ <92> H23.5.30 セイヨウミザクラ
発生時期: 年1回、5月上旬~6月上旬
発生樹種: サクラ、ナナカマド、サンザシ
形態等: 体長約30mm、小枝の先端の葉を纏って巢をつくり、中に淡黄緑色~黄褐色の幼虫が群棲。葉を移動しながら加害する。

マツハバチ科



マツノミドリハバチ <93> H23.9.12 ゴヨウマツ
発生時期: 年2回、7~10月
発生樹種: アカマツ、クロマツ、ストロブマツ、カラマツなど
形態等: 体長約20mm、胴部は光沢のある緑色で暗い縦縞がある。頭は黄色で黒い大きな斑紋がある。

ミフシハバチ科



アカスジチュウレンジ H22.11.8 モッコウバラ
発生時期: 年3~4回、5~7月に多い
発生樹種: バラ類(セイヨウバラ、ノイバラ、モッコウバラなど)
形態等: 体長約20mm、全体黄緑色で多数の黒点があり、頭部は黄褐色。若齢幼虫の頭部は黒褐色で黒点は目立たない。



ニレチュウレンジ H23.7.8 アキニレ
発生時期: 年2回、6月、8~9月、蛹越冬
発生樹種: アキニレ、ナルニレ
形態等: 体長約20mm、全体黄緑色で多数の黒点がある。頭部や脚の基部は黒い。



ルリチュウレンジ <94> H23.5.24 サツキ
発生時期: 年3回、5~8月に多い、幼虫越冬
発生樹種: ツツジ類
形態等: 体長約30mm、全体黄緑色で多数の黒点があり、頭部は黄褐色(中齢までは黒)。新葉の葉縁に1粒ずつ産卵する。

カメムシ目(半翅目)

アオバハゴロモ科



アオバハゴロモ <95> H22.7.24 ヤブニッケイ(愛西市)
円内: H22.6.27 ソシンロウバイ(愛西市)
発生時期: 年1回、6~7月幼虫、7月中旬~幼成虫混在、次第に成虫のみに。
発生樹種: ツバキ、柑橘類、アオキ、ヒイラギなど多様
形態等: 幼虫は体長約8mm、白色綿状の腺物質を体にまとり、成虫は全長約10mm、淡青緑色で、翅をたたんで静止するので側面から見ると三角形に見える。

アブラムシ科



アブラチャンコブアブラムシ H22.6.23 アブラチャン
発生時期: 4~10月
発生樹種: アブラチャン、クロモジ、シロモジなど
形態等: 胸部から腹部背面の両側に紅色の紋様がある。体長約2mm



イスノフシアブラムシ H23.5.6 アラカシ
発生時期: 5月下旬~10月下旬、イスノキの虫えい内、11月~5月; アラカシ
発生樹種: イスノキ、アラカシ、クスギ、ミズナラ
形態等: イスノキでは小枝にイチジクの果実状の虫えいを形成。アラカシでは、成虫が群生して吸汁加害し、多量の排泄物を出すため、すす病が発生し、著しく美観を損ねる。



イタヤミドリクアブラムシ H23.5.17 トウカエテ
発生時期: 4~5月
発生樹種: トウカエテ
形態等: 鮮やかな淡緑色。新梢に大発生し、新葉は萎縮し、枝葉は排泄物で濡れ、著しく美観を損ねる。体長2~2.5mm



イバラヒゲナガアブラムシ H23.5.6 モッコウバラ
発生時期: 3~10月(5~6月に多発) 発生樹種: バラ、ノイバラ
形態等: 周年バラ類に着生。光沢のある緑色で、頭部は淡褐色、角状管と触角は黒色。体長2.5~3mm



ウツギトックリアブラムシ H22.4.9 サラサウツギ
発生時期: 4月 発生樹種: 冬寄主...ウツギ、アジサイなど、夏寄主は不明
形態等: 体色は黄緑色~緑色、暗緑色の角状管は中央部で顕著に膨れる。幹母は腹部が球形に膨れる。



エゴネコアシアブラムシ

H22.5.31 アカバナエゴノキ
円内: H22.6.23 アカバナエゴノキ

発生時期: 6~7月
発生樹種: 冬寄主...エゴノキ
形態等: トサカ状の虫癭を形成、白色蠟質物におおわれる。



エノキワタアブラムシ

H23.5.7 エノキ(愛西市)

発生時期: 4~11月
発生樹種: エノキ、ムクノキ
形態等: 体色は暗黄色や暗黄緑色で、多量の綿状の白色蠟質物におおわれる。体長1.7~2mm



クヌギミツアブラムシ

H22.5.25 シナサワグルミ

発生時期: 4月下旬~6月下旬
発生樹種: クヌギ、コナラ、アラカシ、ウバメガシ
形態等: 体色は黄色で、胸部から腹部背面に2条の緑色の線がある。体長約1.5mm



クリオオアブラムシ

<97>

H22.11.26 クリ

発生時期: 4月~秋
発生樹種: クリ、カシ、クヌギなど
形態等: 体は大型で4~5mm、黒色で腹部はやや球状



オカボノアカアブラムシ

<96>

H22.5.28 ウメ

発生時期: 4月上旬~6月中旬、6月中旬には夏寄主(イネ科)へ移住、9月中旬~冬寄主に戻る。発生樹種: 冬寄主...モモ、ウメ、サクラ類など
形態等: 体色は赤褐色~汚黄緑色、蠟質白色粉におおわれる。



カナメグライボアブラムシ

H23.5.16 フンゴウメ

(別名: ホップイボアブラムシ)

発生時期: 6~11月
発生樹種: 冬寄主...スモモ、ウメ
形態等: 黄緑色~淡緑色で光沢がある。頭部に指状突起をもつ。体長約2mm



クリヒゲマダラアブラムシ

H22.11.24 クリ

発生時期: 5~11月
発生樹種: クリ、クヌギ
形態等: 体色は黄褐色で、薄く蠟質白粉で覆われる。体長約2mm



クロトゲマダラアブラムシ

H22.5.15 コナラ(岐阜県各務原市)

発生時期: 4~11月
発生樹種: コナラ、クヌギ、カシワなど
形態等: 成虫は体長約2mm、腹部前方の背面に3対の棘があり、体と後脚が黒いので多量と区別しやすい。角状管と尾片は短い。



カバイロトゲマダラアブラムシ

H23.5.16 カシワ

発生時期: 5~7月
発生樹種: コナラ、カシワ、ミズナラ
形態等: 体色は黄緑色で、背面に淡黄色の突起体がある。体長約2mm



キョウチクトウアブラムシ

H23.9.1 キョウチクトウ

発生時期: 5~6月、9~10月
発生樹種: キョウチクトウ
形態等: 体色は橙黄色で、角状管、脚などは黒色。体長約2mm



コミカンアブラムシ

H23.8.4 モッコク

発生時期: 5~11月、春季は少ない
発生樹種: 柑橘類、ツバキ、カナメモチなど
形態等: 体色及び角状管と尾片は暗褐色、触角は各節に淡色部がある。幼虫の体色は明るめて橙赤褐色。体長約1.7mm



サクラコブアブラムシ

H22.4.25 サクラ(稲沢市)
円内: 同上

発生時期: 5~6月、夏季には見られない
発生樹種: 冬寄主...サクラ類
形態等: 新梢の葉が巻縮して鮮明な黄赤色~赤色に変色。中に暗緑色で濃淡のある本種が寄生。体長約3mm



サルスベリヒゲマダラアブラムシ H23.8.4 サルスベリ
 発生時期: 7月中旬～9月中旬
 発生樹種: 周年サルスベリで生活
 形態等: 淡黄色で、多発時には新梢全体に分散して加害し、すす病を併発する。体長約1.2mm



タケヒゲマダラアブラムシ H23.5.19 カムロザサ
 (別名: タケヒゲナガブチアブラムシ)
 発生時期: 4～6月、11～12月
 発生樹種: メダケ属、マダケ属、ササ属
 形態等: 淡黄色で、胸部がうすく褐色を帯びることが多い。体長約2mm



バイカウツギコブアブラムシ H22.4.28 セイヨウバイカウツギ
 発生時期: 4月下旬～6月、10月中・下旬、夏季には見られない
 発生樹種: 冬寄主…バイカウツギ、ウツギ
 形態等: 全体橙黄色で、胸部背面に二の字形、腹部背面に下の字形の黒い斑紋がある。体長約2.3mm



ハギオナガヒゲナガアブラムシ H23.10.18 ハギ
 発生時期: 4～6月、10～11月
 発生樹種: ハギ類
 形態等: 体色は黄緑～緑色で、角状管は黒く長め。体長約2.4mm



ナシアブラムシ H23.5.17 ナシ
 発生時期: 5月
 発生樹種: 冬寄主…ナシ、セイヨウナシ、モモ
 形態等: 体色は黄緑色～緑色で背面中央に緑条をもつ。



ナシミドリオオアブラムシ <98> H21.9.29 ナシ
 発生時期: 夏寄主…5月～、冬寄主…10月～
 発生樹種: 冬寄主…シヤリンバイ、ナナカマド、ビワ、夏寄主…ナシ
 形態等: 胸、腹部の背面に3条の鮮緑色の模様があり、後脚は長い。体長3～4mm



ハゼアブラムシ H23.4.15 オオデマリ
 発生時期: 4～6月
 発生樹種: サンゴジュ、トベラ、ハゼ、オオデマリ
 形態等: 暗褐色～黒褐色で、光沢はなく、かすかに蠟質白色粉をおおう。



ハッカイボアブラムシ H23.4.25 イッサイトウカリ
 発生時期: 4～5月
 発生樹種: カリン、リンゴ
 形態等: 体色は淡黄色～黄緑色で、わずかに光沢がある。



ニシヤワタアブラムシ <99> H23.4.22 ハナカイドウ
 発生時期: 4～5月
 発生樹種: 冬寄主…リンゴ、カイドウ、ハナカイドウ、カリン
 形態等: 体色は淡緑色であるが、全体白色綿状物質で覆われる。葉はねじれて裏面に巻き込む。



ニワトコヒゲナガアブラムシ <100> H23.4.11 ニワトコ
 (別名: ニワトコフクレアブラムシ)
 発生時期: 冬寄主: 3月上旬～5月中旬、10月下旬～11月上旬
 発生樹種: 冬寄主…ニワトコ、夏寄主…コブシ、マサキ、ニシキギ、サルスベリなど多種
 形態等: 全体光沢のある緑色で、頭部は黄緑色～橙黄色。体長約3～4mm



ハネナガオオアブラムシ H23.4.11 モミ
 発生時期: 4月
 発生樹種: モミ、イヌガヤ、アトドマツ
 形態等: 体色は黒褐色でかすかに蠟質白色粉をおおう。幹、枝に大きい集団を形成して寄生する。体長6～7mm



ヒイラギオオワタムシ (別名: ヒイラギハマキワタムシ) H23.4.9 イボタノキ(愛西市)
 発生時期: 5月、夏季には見られない
 発生樹種: 冬寄主…モクセイ、ヒイラギ、ネズミモチ
 形態等: 体色は淡緑色～黄緑色で、多量の蠟質綿状物質で覆われる。体長約3.5mm



ヒメコマツオオアブラムシ H22.6.5 ゴヨウマツ(愛西市)
(別名:ゴヨウマツオオアブラムシ)
発生時期:春季、秋季
発生樹種:ゴヨウマツ(ヒメコマツ)
形態等:体色は赤褐色で、わずかに白色蠟質物をおおう。腹部背面に黒褐色の斑紋があり、この部分には蠟質物はない。体長2.7mm



マキシシハアブラムシ H23.6.4 イヌマキ(愛西市)
発生時期:5~6月、8月下旬
発生樹種:イヌマキ、ラカンマキ
形態等:体色は赤褐色で、蠟質白色粉で覆われる。角状管はほとんど無い。体長約2mm



ヤナギクロケアブラムシ H23.7.28 シダレヤナギ
発生時期:4月中旬~6月、10月
発生樹種:シダレヤナギ、ハコヤナギ、イヌコリヤナギなど
形態等:全体黒褐色で多くの黒い剛毛で覆われる。体長約1.4mm



ヤナギコブオオアブラムシ H22.5.3 ヤナギ(岐阜県各務原市)
発生樹種:シダレヤナギ、ネコヤナギ、コリヤナギなどヤナギ類のみ
形態等:体色は暗褐色から黒褐色で、わずかに蠟質白色粉を覆う。腹部背面にこぶ状の突起体がある。



マツオオアブラムシ H24.5.30 アカマツ(一宮市)
発生時期:年間
発生樹種:アカマツ、クロマツ、ゴヨウマツ
形態等:体色は暗褐色~黒褐色で、蠟質白色粉で薄く覆われる。体長約3mm



ミカンクロアブラムシ H22.11.8 ハッサク
発生時期:春~秋、最多発生は5~6月
発生樹種:ミカン類
形態等:ミカン属のみに寄生。全体が光沢のある黒色で、コミカンアブラムシに比べやや大きい。



ヤナギフタアブラムシ H23.4.21 ヤナギ(岐阜県各務原市)
発生時期:4~6月
発生樹種:カワヤナギ、シダレヤナギ
形態等:緑色~黄緑色の個体が多いが、黄褐色の個体も見られる。前胸から腹部背面に2本の濃緑の縦条がある。体長約2mm



ヤノイスアブラムシ H23.5.14 イスノキ(愛西市)
円内:H23.4.29 イスノキ(愛西市)
発生時期:冬寄主:4~7月、夏寄主:7~10月
発生樹種:冬寄主:イスノキ、夏寄主:コナラ
形態等:4~6月頃、イスノキの葉上に約5mmの半球状の虫えいを形成する。虫えい内で増殖し、7月上旬先端部が裂けると夏寄主のコナラに移動する。



モミジニタイケアブラムシ H22.4.7 カエデ
発生時期:4月上旬~6月、最多発生は4~5月(新葉の展開と同時に発生)
発生樹種:カエデ類など
形態等:頭部・胸部は光沢のある黒色で腹部は暗赤褐色、幼虫は黄色~黄褐色。体長2~3mm



モモコフキアブラムシ H23.4.28 モモ
発生時期:5~11月
発生樹種:冬寄主...モモ、ウメ、アンズ、スモモ
形態等:無翅型は頭部・胸部と腹部後方が赤く、その間は黄色色をしている。蠟質白色粉で覆われる。体長約2mm



ユキヤナギアブラムシ (別名:ミカンドリアブラムシ) H23.4.15 ユキヤナギ
発生時期:冬寄主:4~6月、夏寄主:5月中旬~
発生樹種:冬寄主...ユキヤナギ、コデマリ、夏寄主...カイドウ、カナメモチ、ボケ、柑橘類、ビワなど多種
形態等:体色は緑色~黄緑色で、角状管と尾片は黒色。体長約1.8mm



ワタアブラムシ <101> H23.5.13 ムクゲ
発生時期:冬寄主:4~6月
発生樹種:冬寄主...ムクゲなど、夏寄主...ザクロ、柑橘類など
形態等:体色は黄色、暗赤色、暗緑色、黒色。幼虫の時期は黄色で、大きくなるにつれて暗い色になっていく。

アワフキムシ科



シロオビアワフキ

H23.5.4 ツルウメモドキ (愛西市)

発生時期: 年1回、5月、卵越冬
発生樹種: アベリア、ヤナギ、サクラ、ナンテンなど
形態等: 幼虫が吸汁加害時に新梢に白い泡を付けるため、よく目立ち、美観を損ねる。樹木への影響は小さい。



マツアワフキ

<102>

H22.4.30 シダレアカマツ

発生時期: 年1回、4月下旬～7月上旬 (5月中旬～6月中旬に最多)
発生樹種: クロマツ、アカマツなどマツ類
形態等: 若い枝にあわ状の分泌物が付き、中に赤褐色の幼虫 (5～6mm) が2～3頭棲む。



モミジワタカイガラムシ

H23.5.25 ケヤキ

発生時期: 年1回、幼虫発生は5月下旬～6月下旬
発生樹種: カエデ類、カシ類、ケヤキ、エノキ、シラカバ、アキニレ
形態等: 雌成虫の貝殻は長さ8～11mm、5月頃に白色綿状の卵のうを形成するのでよく目立つ。若齢木には着生せず、壮老樹の幹だけに着生する。



ルビーロウムシ

<104>

H21.10.1 ゲッケイジュ

発生時期: 年1回、幼虫発生は6月中旬～7月下旬
発生樹種: ゲッケイジュ、柑橘類、ツバキ、ヒサカキ、マサキなど多種
形態等: 雌成虫は比較的硬いアズキ色の蟻物質で厚く覆われ、大きさは4～5mm。天敵ルビーアカドリコバチに寄生されると介殻が黒色になる。

カタカイガラムシ科



カメノコロウムシ

H22.6.7 フイリコクチナシ

発生時期: 年1回、幼虫発生は6月上旬～7月上旬
発生樹種: クチナシ、ツバキ、柑橘類、ゲッケイジュなど多種
形態等: 雌成虫はやや硬い白色～淡いピンク色を帯びた蟻物質で覆われ大きさは4～5mm。他のロウムシと異なり、定着後も移動が可能。



タマカタカイガラムシ

H22.2.13 ウメ(岐阜県安八町)

発生時期: 年1回、幼虫発生は5月下旬～6月中旬
発生樹種: ウメ、サクラ、スモモ、カイドウなどバラ科植物のみ
形態等: 雌成虫の貝殻はほぼ球形で径4～5mm、硬化し、光沢のある赤褐色～暗褐色。主に枝・幹に寄生。

カメムシ科



イチモンジカメムシ

H22.11.1 オオヤエクチナシ

発生時期: 6～11月
発生樹種: マメ科の植物
形態等: 雌では前胸背に淡緑色の横帯があり、雄では淡紅色の横帯がある。体長9～11mm



イネカメムシ

H22.10.12 ラクウシヨウ

発生時期: 4～10月
発生樹種: イネ科植物
形態等: 体長13mm内外、薄茶色で外縁部は乳白色。シロヘリカメムシに似るが、本種は頭部の側葉の左右が接していない。(シロヘリは接する)



ツノロウムシ

<103>

H23.9.26 クチナシ

発生時期: 年1回、幼虫発生は6月中旬～7月下旬
発生樹種: モチノキ、ゲッケイジュ、ツバキ、カエデ、クチナシなど多種
形態等: 雌成虫の蟻質貝殻は柔らかい糊状で、わずかに淡紅色を帯びた白色。大きさは6～8mm。カメノコロウムシに似るが、本種成虫は顕著な角状突起がある。



ヒモワタカイガラムシ

H24.5.14 ウメ

発生時期: 年1回、5月産卵、幼虫発生は6月上旬
発生樹種: ビラカンサ、ネムノキ、ケヤキ、エノキ、コブシ、マルメロ
形態等: 雌成虫は貝殻の長さ4～8mmで全体淡褐色。小枝に白綿のひも状の卵のうがリング状に付き、数千粒の卵が入っている。



クサギカメムシ

H23.7.22 レッドロビン

発生時期: 4～10月
発生樹種: クワ、クサギ、ウメ、モモ等の果実(幼虫は主にスギ・ヒノキの球果)
形態等: 体全体が茶色で臭いカメムシ。体長約16mm



チャバネアオカメムシ

H22.4.21 マルメロ

発生時期: 4～11月
発生樹種: カキ、モモ、ビワなどの果実(幼虫は主にスギ・ヒノキの球果)
形態等: 緑色の体色に茶色の翅を持つ。体長約11mm

キジラミ科



ツヤアオカメムシ

H21.11.30 オオイトスギ

発生時期：4～11月
発生樹種：スギ、ミカンなど（幼虫は主にスギ・ヒノキの球果）
形態等：緑色で鈍のあるカメムシ。体長約16mm



クワキジラミ

H22.5.30 クワ（岐阜県各務原市）

発生時期：年1回、新葉の展開とともに産卵・孵化～7月、成虫越冬
発生樹種：クワ
形態等：雌成虫は体長3～4mm、黄緑色～黄褐色で尾端から長い白色蠟質の糸状物質を出す。



シキミゲンバイ

<105>

H22.5.12 シキミ

発生時期：5～9月
発生樹種：シキミ
形態等：やや大型で、全体の色は淡く、褐色～暗褐色である。



ツツジゲンバイ

<105>

H22.6.8 ヒラドツツジ

発生時期：年4～5回、4月～秋まで不規則に発生、成虫越冬
発生樹種：サツキ・ツツジ類
形態等：成虫は体長3.5～4mm、全体黒褐色で背面は灰白色、翅をたたむと淡褐色のX状斑ができる。



サツマキジラミ

H23.5.30 シャリンバイ

発生時期：5月 発生樹種：シャリンバイ
形態等：体長1.7～2.3mm。5月にシャリンバイで大発生し、その後他に移動し、秋にまた戻ってくる。ヤニ状物を排出するため、ほこりが付着して汚くなったり、すす病が誘発されて葉が黒くなる。



ヤマトキジラミ

H23.6.19 ネムノキ（江南市）

発生時期：年2回、6～8月、9～11月、成虫越冬
発生樹種：ネムノキ
形態等：ネムノキの葉、葉柄、花に群生して吸汁する。体色は、花期に発生するもの（夏型）は黄色、秋型は茶褐色



トサカゲンバイ

<105>

H22.6.21 ヤクシマアセビ

発生時期：年4～5回、4月下旬～9月に不規則に発生、卵越冬
発生樹種：アセビ、カキ、アジサイ、モクレンなど
形態等：成虫は体長2.7～3.7mm、やや細長く全体黒褐色で光沢がある。



ナシゲンバイ

<105>

H22.8.4 ハナカイドウ

発生時期：年3～4回、4～9月に不規則に発生、成虫越冬
発生樹種：ナシ、サクラ、ボケ、モモ、ウメなど多種
形態等：成虫は体長約3.5mm、複眼のみ突出する。全体黒褐色で、翅をたたむとややX状の黒色斑紋ができる。

ゲンバウムシ科



アワダチソウゲンバイ

H23.7.11 チュウゴクザサ

発生時期：4～10月
発生樹種：キク・ヒマワリ、サツマイモ
形態等：翅は半透明で褐色の斑紋があり、前翅前縁が角ばっている。



クスゲンバイ

<105>

H21.10.5 クスノキ

発生時期：7～9月
発生樹種：クスノキ、タブノキ、シロダモ
形態等：全体淡灰黄色で光沢があり、翅をたたむと褐色のX状斑を生ずる。



プラタナスゲンバイ

<105>

H23.7.1 モミジバスズカケノキ

発生時期：年3回
発生樹種：プラタナス
形態等：成虫は体長3.5～3.7mm、体色は乳白色で前翅に黒褐色紋がある。



ヤナギゲンバイ

H22.9.26 ヤナギ（岐阜県各務原市）

発生時期：9月
発生樹種：ヤナギ類
形態等：体長3～3.4mm、他のゲンバウムシに比べ細長い。

コナカイガラムシ科



クワコナカイガラムシ H23.9.29 セイヨウバクチノキ
 発生時期: 年2~3回、5月中・下旬、8~9月
 発生樹種: クリ、リンゴ、柑橘類、ブドウ、ツツジ、サクラ
 形態等: 体長3~5mm、黄褐色~暗褐色で白粉で覆われる。



マツモトコナカイガラムシ H22.7.5 カジノキ
 発生時期: 年間世代数等不明
 発生樹種: エノキ、ボケ、ナシ、アカメガシワなど多樹種
 形態等: 雌成虫は体長3~4mm、暗紫色で白色粉状の蟻質物で覆われる。周縁の突起はあまり発達せず、後部数節に限られる。

コナジラミ科



ザクロシロトゲコナジラミ H21.9.16 オオミザクロ
 発生時期: 8~10月
 発生樹種: ザクロ
 形態等: 葉裏に体長約1mmの成虫や蛹が密に混在する。



チャトゲコナジラミ H22.10.21 ツバキ(稲沢市)
 発生時期: 年3~4回、春~秋
 発生樹種: チャ、サザンカ、ヤブツバキ、サカキ、ヒサカキ、シキミ
 形態等: ミカントゲコナジラミと同一種とされていたが、平成23年にチャ寄生性の系統が新種チャトゲコナジラミとして扱われるようになった。繁殖力が非常に高く、短期間で密度が高くなり、すす病を併発する。体長1.3mm



ツツジコナジラミ H22.4.21 シロリュウキユウ
 発生時期: 年3回くらい、5~10月まで不規則に発生、蛹越冬?
 発生樹種: ナツキ、ツツジ類



ミカンコナジラミ H23.8.22 オオヤエクチナシ
 発生時期: 年3回、成虫は5~6月、7~8月、9月に発生、蛹越冬
 発生樹種: 柑橘類、クチナシ、カキ、ネズミモチ、サルスベリなど多樹種

ツノカメムシ科



エサキモンキツノカメムシ H22.4.13 ウバメガシ
 発生時期: 5~10月 発生樹種: ミズキ、ハゼノキなど
 形態等: クリーム色のハートマークが特徴的なツノカメムシ。体長10~14mm



オオツノカメムシ H21.11.13 セイヨウバクチノキ
 発生時期: 4~10月 発生樹種: ケンボナシ
 形態等: 体色は緑色で、両肩に赤く鋭い角を持つ。体長16~18mm

トガリキジラミ科



クストガリキジラミ H23.3.29 クスノキ
 発生時期: 年1回、4~5月
 発生樹種: クスノキ
 形態等: 葉上に黒褐色の虫こぶを作って加害する。葉裏に凹みができ、体長1mmの幼虫が着生している。実害は少ないが、著しく美観を損ねる。

フクロカイガラムシ科



サルスベリフクロカイガラムシ H23.7.21 サルスベリ
 発生時期: 年2~3回、発生は不規則
 発生樹種: サルスベリ、ザクロ、アカメガシワ
 形態等: 雌成虫の殻のうの長さは約3mm、白色卵形で虫体は灰褐色~紫褐色。主に枝梢に寄生。

ヘリカメムシ科



タケフクロカイガラムシ H22.4.14 オロシマチク
 発生時期: 年2回、幼虫発生は5月上中旬、7月中下旬
 発生樹種: タケ類、ササ類



オオクモヘリカメムシ H22.7.9 ミカン
 発生時期: 3~10月
 発生樹種: カンキツ類、カキの果実(幼虫はネムノキ)



キバラヘリカメムシ

H23.9.26 コマユミ

発生時期: 4~11月
発生樹種: マユミ、コマユミ、ニシギキ、ツルウメモドキなどの実
形態等: 体色は黒っぽいが、腹部周辺のみ出した部分が黄色と黒の縞模様となっており見える。体長14~17mm



ホオズキカメムシ

H22.8.13 ミヤギノハギ

発生時期: 6、8月 発生樹種: ホオヅキ、ナス科の野菜など
形態等: 体色は焦げ茶色、体表には細かな微毛が密生しており、後脚の腿節は太い。体長10~13mm

ホソヘリカメムシ科



ホソハリカメムシ

H21.12.2 オオヤエクチナシ

発生時期: 7~9月 発生樹種: イネ科植物
形態等: 体色は茶色で地味な色をしており、胸部左右が鋭く尖る。体長8~11mm



ホソヘリカメムシ

H22.11.5 シチメンフヨウ

発生時期: 4~11月
発生樹種: マメ科の植物
形態等: 細長い体形をしていて、後脚は太くトゲもある。体長14~17mm

マルカイガラムシ科



ウメシロカイガラムシ

H21.12.24 ウメ

発生時期: 年3回、幼虫発生は5月、7月、9月頃
発生樹種: ウメ、サクラ、ライラック、モモなど



ヤノネカイガラムシ

H21.9.27 ミカン(愛西市)

発生時期: 年2~3回、幼虫発生は5~11月 発生樹種: カラタチ、柑橘類のみ
形態等: 雌成虫の貝殻は濃紫褐色の矢の根状で長さ2.5~3.5mm。雄の貝殻

マルカメムシ科



マルカメムシ

H22.5.28 ハギ

発生時期: 5~10月
発生樹種: マメ科の植物
形態等: 小さく丸っこいカメムシ。体長約5mm

ワタフキカイガラムシ科



イセリアカイガラムシ

<106> H23.4.26 ナンテン(愛西市)

発生時期: 年2~3回、発生は不規則
発生樹種: 柑橘類、ナンテン、トベラ、モッコクなど多種
形態等: 雌成虫の貝殻は楕円形、長さ約5mmで虫体は暗橙赤色、背面に黄白色の蠟質物を覆い、成熟すると腹面に白い卵のうを形成する。



赤星病(ナシ)

H22.5.31

症状等: ナシ、リンゴ、ボケ、カイドウなどの葉面や果実に橙黄色の斑点ができ、やがて葉裏に黄灰色の毛状体が現れる。病原菌は、冬の間はピヤクシン(中間寄主)で越冬する。



赤星病(ボケ)

H22.5.28

赤星病(マルメロ)

H23.5.9



うどんこ病(ウハメガシ)

H21.9.9

症状等: 葉表や幼梢上に白色粉状のカビが生じ、次第に広がって全面が白粉に覆われる。盛夏の高温時には病勢が一時衰えるが秋に再び病状が進展する。



うどんこ病(トウカエデ)

H21.9.18



うどんこ病(サルスベリ)

H23.10.11



うどんこ病(スモークツリー)

H23.9.26



うどんこ病(ハナミズキ)

H22.8.13



かいはよう病(ミカン)

症状等: 葉、枝、果実の病斑が、コルク化して表面ががさついてくる。最多発生は梅雨明けから8月上旬。

H23.8.15



褐色円斑病(ナツツタ)

H23.5.16

症状等: 葉に5mm位の褐色の円形病斑ができる。多発すると非常に見苦しく、ひどくなると葉枯れ症状となる。5月中下旬から発生し、病原菌は病葉とともに越冬し、翌春、菌が雨滴とともに飛散して新たな感染が始まる。



褐色斑病(フィリアオキ)

H23.3.11

症状等: 葉に初め淡褐色の小斑ができ、次第に大きくなって円形・だ円形の病斑となる。病斑は濃い褐色帯に囲まれ健全部との境は明瞭。



褐色斑病(カリン)

H23.6.20



褐色斑病(ヒメユズリハ)

H23.4.11



褐色斑病(レッドロビン)

H21.12.2



カルミア褐色斑病(カルミア)

H23.4.11

症状等: 初め、新葉に褐色小斑を生じ、後に拡がって10~15mm、灰褐色~褐色の不整形の病斑となる。

黒星病(ウメ)

H23.6.3

症状等: 果実に緑黒色で径1~3mmの円形病斑ができる。





ごま色斑点病(シャリンバイ) H22.3.29
 症状等: 初め葉の表面に紅色の小斑を生じ、やがて3~5mmの黒褐色の円斑となる。



紫斑病(シャリンバイ) H21.12.2
 症状等: 初め新葉に円形の褐色斑が現れ、後に拡がって中央部が灰褐色で周りが濃紫褐色の大型の病斑となる。



縮葉病(オオシマザクラ) H22.5.24
 症状等: 出葉後の葉に赤や黄色の小さい火彫れ状の病斑ができ、葉の成長とともに病斑も大きく膨れ上がり、肥厚、ねん転、縮葉を起こす。



縮葉病(ウメ) H22.11.1



すす病(アズキナシ) H22.6.25



すす病(ウバメガシ) H21.9.29
 症状等: 葉にすすがついたように、黒色粉上のカビが付く。カイガラムシ、アブラムシ類の寄生による虫の排泄物に菌類(糸状菌)が二次的に寄生して繁殖する機会が多い。ウバメガシではルビーロウムシに誘発されるすす病が多い。



すす病(ウメモドキ) H23.11.8

すす病(センナリカリン) H22.5.28



すす病(クチナシ) H21.8.5



すす病(サルスベリ) H22.8.11



すす病(ウメ) H23.6.20



すす病(ゲッケイジュ) H23.8.15



すす病(シャリンバイ) H22.5.31



すす病(シナヒイラギ) H23.9.26



そうか病(ヤツデ) H23.8.18
 症状等: 初め淡褐色小斑点を生じ、後に灰白色~淡褐色3~5mmの円形病斑となる。古い病斑はかさぶた状に見える。



多芽病(クロマツ) H22.3.1
 症状等: 1カ所から芽が群生する。非伝染性とされるが詳細は不明。



炭そ病(ツバキ)

H23.8.25

症状等:主に葉の周縁部から発生し、病斑は類円形、径10~20mm、褐色~赤褐色で、古くなると灰白色になる。



炭そ病(ヤツデ)

H22.11.10



斑点病(アジサイ)

H23.5.19



斑点病(ハナミズキ)

H23.6.9

症状等:始め小さな赤褐色の斑点が後に褐色で5~10mmの不整形斑となる。



炭そ病(アジサイ)

H23.8.11



炭そ病(アオキ)

H23.10.22



斑紋病(クスノキ)

H22.4.23

症状等:暗褐色円形の小班から次第に褐色病斑となる。



円星性落葉病(カキ)

H23.10.9

症状等:9月頃から赤褐色の円形病斑ができる。



葉さび病(シダレヤナギ)

H23.11.14

症状等:葉、新梢に発生する。5~6月頃から葉裏に黄色の小斑点を生じ、後にその上に橙黄色粉状物を形成する。



葉さび病(オオバヤシャブシ)

H21.11.9



葉ふるい病(クロマツ)

症状等:春に、前年(7~9月)に針葉に発生した淡褐色の小斑点が次第に灰褐色~灰白色に変わり、やがて脱落する。



もち病(サザンカ)

H22.5.24

症状等:主に葉に発生し、侵された部分は膨らんで奇形となり、白い粉状物を露出し、ついには黒褐色となって枯死し萎縮する。



輪紋葉枯病(ツバキ)

H23.10.27

症状等:初め赤褐色の小斑点が生じ、急速に拡大して径10~20mm、円形~紡錘形の病斑となる。